

# ネットワーク通信

NO. 14 (H25. 5. 7発行)

長井市社会福祉協議会

〒993-0011

長井市館町北6-19

☎ 0238-88-3711

FAX 0238-88-3712

桜の季節が終わり、5月10日から白つつじ祭りが始まります。5月17～18日は黒獅子祭などイベントが盛りだくさんの月です。水と緑と花の長井を楽しんでほしいと思います。

## 《ふくしま結ネット》のご案内

福島県から県内外に避難されている方と福島県を「情報」で「結ぶ」Webサイトです。

お子さんと一緒に避難されている方に伝えたい健康診断や予防接種などの健康・福祉情報・避難生活のこれからを考えるうえで重要な生活、補助・支援情報や福島県内の子育て環境などの情報を行政や支援団体と連携しながら分りやすく発信していきます。是非ご利用ください。

### 『ふくしま結ネット』

<http://yuinet.beans-fukushima.or.jp/>

「問合せ」東日本大震災中央支援センター福島窓口

TEL 024-573-0150



## 福幸ファーム情報

(NPO法人レインボープラン市民農場)



### 5月の作業予定をお伝えします。

- 1～5 キャベツ・レタスの定植  
(5/1 枝豆播種)
- 6 人参播種
- 10 人参・いんげん播種、さつまいも定植、  
枝豆播種
- 15～17 (人参、ピーマン、里芋 枝豆) 定植  
いんげん播種
- 18 モロヘイヤ定植
- 19 つるむらさき定植
- 20 ジャガイモ土寄せ
- 25 枝豆定植



避難者交流推進事業

『みんなで田植え！さなぶり交流会』

※ 天候等の事情により変更あり



## ももキッズ & ママサロン情報

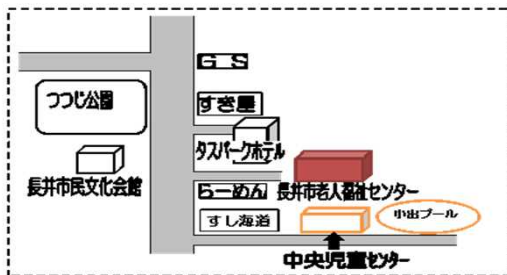


福島から長井に来ている小さい子のママさんや小学校に通うママさんの集りです。

子供達を遊ばせながら、ママ同士おしゃべりしたり楽しんでいきます。ボール遊びやブロックなどもあり、体育館では大きな声を出しながら走りまわることができます。お子さんが保育園や学校に行っていて、ママだけの参加も歓迎です。

場所：児童センター

日時：毎週火、金曜日の10時から12時まで



「しし」さんの案内が便利です。そこから入りください。

### 5月の日程

毎週、火、金曜日に開催します。

### 6月の日程

毎週、火・金曜日に開催します。

震災＆原発事故から2年が経過しました。

しかし、福島の原発事故は収束には程遠く、深刻な状況は改善されないままメディアでは「福島キャンペーン」が繰り返されております。

その一方で、先月朝のNHKニュース全国版で避難者とその受入先である福島県いわき市市民との間の「あつれき」の問題がとりあげられるなど、複雑な問題が発生していることも伝えられています。

現在何が起きているのか、事故の深刻さから目をそらさず、風化させることのないよう、作業を通じての情報交換も行いながら、避難者と長井市民の方々との交流にも寄与できればと思います。

多くの方の参加・ご協力をお待ちしております。

よろしくお願いいたします。

連絡先：090-3645-6745 村田まで

「福幸ファーム」では一緒に野菜や米作りをする仲間を募っています。コミュニケーションの場、健康づくりの場として参加しませんか。小さなお子様がいる方でも参加できます。たくさんの方の参加をお待ちしています。



## 5月のイベント情報

### ◎白つつじまつり

5/10(金)～5/31(金)

樹齢750年の「七兵衛つつじ」をはじめ、役3000株の琉球種の白つつじが咲き誇ります。

### ◎第24回ながい黒獅子まつり

前夜祭 5月17日(金) 午後6時～8時

白つつじ公園多目的広場

本祭り 5月18日(土)

午後5時30分スタート

(昼まつり) 午後0時30分スタート

市内目抜き通りから白つつじ公園まで、市内十数社の社社の黒獅子が勇敢な舞を繰り広げます。

### ◎第35回全国白つつじマラソン大会

5月19日(日) 午前10時スタート

(ウォーキング部は9時30分スタート)

まつり期間中の詳しい日程は、5/1の市報と一緒に配布になった、別紙チラシをご覧ください。

## 交流会のお知らせ

### 「みんなで田植え！&さなぶり交流会」

復興支援種「甦る」の酒米「さわのはな」を避難している皆様と地元の方々の手で田植えをしてみませんか。

田植えのみの参加や交流会のみの参加でもかまいません。また、お子様連れは大歓迎です。

日時:5月25日(土)

・田植え 10時～14時(雨天延期)  
(昼食におにぎりを用意します。)

参加費無料

・交流会 17時～20時(雨天決行)

会場 松竹会館(長井市栄町)

参加費 1,000円(高校生以下無料)

集合場所:交流センターふらり(長井市屋城町)

前庭9時45分集合

申込締切:5月20日

申込・お問合せ:レンポープラン市民農場

☎ 090-1935-1609 担当 遠藤



## 黒獅子の歴史

伝承によると、今から930年前、源頼義が前九年の役の戦勝祝と併せ宮の総宮神社の社殿を再建した時に、兵子達に獅子舞をさせたのが始まりと言われています。この獅子舞は、野川上流の三淵(みふち)に身を投げた「卯の花姫」が竜神となり、神社の例大祭に招かれ野川の流を下る姿であるといわれています。



獅子頭の前幕は波頭、横幕は波としぶきを表わした模様になっています。

多人数が幕の中に入り、頭を動かさず腰に動きをつけて、滑るように舞うので「百足獅子」とも呼ばれ、獅子舞のクライマックスは、「まだ神社に入りたくない」と暴れる獅子をなんとか神社に入れようとする警護との力比べは迫力満点。力比べに負けて俗世に未練を残し、何回も後ろを振り返りながら、ゆっくりと神社に入る獅子の姿が何ともいえない哀愁があります。



## 卯の花姫の伝説

野川の上流に秘境、野川溪谷・三淵(みふち)があり、この三淵には卯の花姫の悲恋伝説があります。

平安時代、東北地方を治めていた安部氏には、卯の花姫と呼ばれる美しい娘がいました。姫は敵の武将(八幡太郎義家)に恋をしまい、ある戦いでこの武将の策略にはまり、見方の軍法を教えてしまいます。これが原因で戦に敗れ、父を戦死に追い込んでしまいました。姫は、父を殺したのは自分であると嘆き、悲しみに打ちひしがれました。

敵の軍勢に追われた姫は三淵まで逃げ込んできましたが、「もはやこれまで」と三淵に身を投げてしまいます。すると、姫の沈んだ辺りから大きな竜が現れ、上流に泳いでいくのが見えたそうです。その三淵の地には竜神を祀る三淵神社が建てられ、長井の里の宮(総宮神社)の奥の院としました。

毎年、「総宮神社の例大祭」には「卯の花姫」が招かれ、竜の姿「大蛇」になって野川を下り、雨を降らせるという言い伝えがあります。

～あとがき～

樹齢1200年の久保桜、美しい可憐な花を咲かせました。その姿に元気をももらった方も多いと思います。